

【清末小説研究会の本】

樽本照雄編

清末小説研究資料叢書13

商務印書館研究文献目録

B5判 166頁 限定200部 定価：3,150円

百年をこえる歴史を経てきた商務印書館です。現代中国では有名な出版社のひとつであることに違いありません。刊行物は多く、関係する人物も多数にのぼります。それぞれが研究の対象になるでしょう。

歴史が長いだけに遭遇した出来事も多種多様なものがありました。なにしろ、日本のある出版社と合併をした時期もあったほどです。日中文化交流の側面からも興味深いといえることができます。

商務印書館を研究した専門書も当然ながら多く刊行されています。それぞれに参考書、参考文献があげられているのが便利です。ただし、中国そのほかで出版された専門書には、日本語文献にまで探索範囲をひろげたものはほとんどありません。中国の出版社のことですから、それも無理はないでしょう。

しかし、日本の出版社と合併をした事実を前にしては、漢語文献だけでは不十分であることは容易に理解できます。少なくとも合併時期の商務印書館を視野におさめるならば、日本語文献を無視しては研究は成立しないはずなのです。

個々の論文を主体にして著者別に研究文献を分類しなおしました。収録した文献数は、全体で1,944件にのぼります。研究文献目録で単行本になるのは空前です。

初期商務印書館の概略と最近の研究状況について次の論文2本を収録しています。

「最近の商務印書館研究について 日中合併の側面から」

「『繡像小説』問題はどうか論じられているか」

日中合併も『繡像小説』問題も、多くある課題のなかの1例にすぎません。参考までにかかげました。

今後の商務印書館研究に役立つ研究文献目録です。

清末小説研究会

日本〒520-0806 滋賀県大津市打出浜8-4-202 樽本照雄方

<http://www.biwa.ne.jp/~tarumoto>